



みずの さち
水野 佐知 議員

コロナ支援対策

薬などの新たな公費補助を 基本的な感染予防を周知する

答 野村健康福祉課長
5類になり、国や県の補助金がないので、治療薬の自己負担軽減策を考えていないが、基本的な感染症予防方法を周知啓発することで、感染予防に努める。

問 抗ウイルス薬は、1回あたり1万円程度の窓口負担が発生する。インフルエンザの薬と比較して、非常に高額である。現実には、地域でも通院はしたが、解熱剤だけで済ませて長く後遺症が続いている人もいる。薬などの自己負担を他の感染症のものと同水準とするなど、新たな公費補助についてどう考えるか。



問 介護や障害者施設の利用者、職員への集中的検査の再開の考えはないか。

答 野村健康福祉課長
今のところ、公費で集中検査することは考えていない。

答 野村健康福祉課長
熱中症警戒アラートが発表された時には、L I

問 その問題については、新聞報道でもあったが、実際に現場では、どういう対応をしているのか。

答 野村健康福祉課長
今のところ考えていない。それよりも、家にエアコンがあっても電気代を抑えたい、エアコンは冷えすぎて体によくないと感じている方や、加齢により暑さを感じにくい等の理由で、エアコンをつけない高齢者の方を問題視している。

問 経済的理由でエアコンがない高齢者への支援対策は、どう考えているか。

熱中症対策

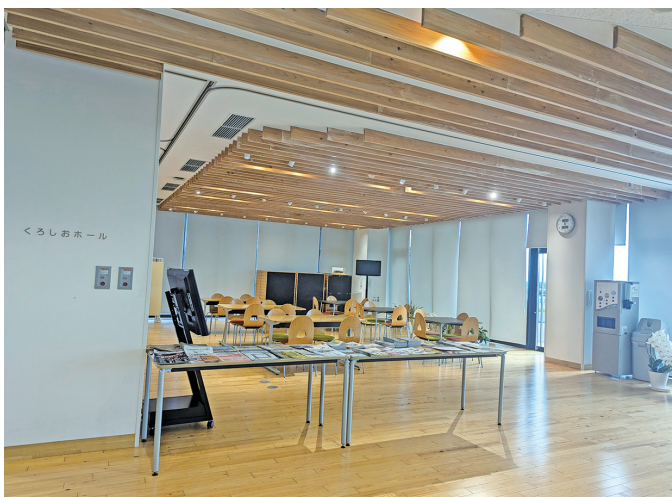
クーリングシエルター設置を 今後、事業所等へ説明を行う

NE等により、周知を図るとともに、各種集まりで熱中症予防の説明等を行っている。

問 クーリングシエルター（危険な暑さから避難できる施設等）の指定

促進と積極的な利用周知を行っているか。

答 野村健康福祉課長
本町では、役場施設やあったかふれあいセンター、あかつき館などの図書館など、開館中であれば誰でも行くことができる施設がある。
今後、事業所等への説明を行い、同意が得られた場所をクーリングシエルターとして指定していきたいと考えている。



本庁舎くろしおホール